

日 時：2011年2月10日(木)

場 所：G事務所会議室

出席者：松本新太郎G、ロータリー財団部門顧問 横山守雄PG、岡部泰鑑GE、高島凱夫GN、小林澄子地区国際奉仕・WCS委員長、財団部門各委員長(福家宏地区ロータリー財団委員長、溝畑正信地区ロータリー財団副委員長、百済洋一地区財団情報・増進委員長、五味千秋財団人道的補助金委員長、梅崎道夫地区財団奨学金・学友委員長、吉崎広江地区研究グループ交換委員長)川上大雄次年度地区社会奉仕委員長、古澤照明次年度地区国際奉仕・WCS委員長、杉村雅之次年度地区財団情報・増進委員長、川田隆次年度財団人道的補助金委員長、岸上億則次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-2013年度地区代表幹事

シェア・システム Share System

ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF(地区財団活動資金)、50%がWF(国際財団活動資金)に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらに通常はDDFとWFには恒久基金の利息の50%が加算されます。このようなシステムをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議

2012-2013年度に配分される新規DDFは2009-2010年度の年次寄付の50%です。この金額はロータリー財団から毎年1月に通知されます。新規DDFに前年度(2011-2012年度)の繰越金を加えた合計金額が2012-2013年度に利用可能なDDFということになります。2012-2013年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が主催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会にご出席されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額

2009-2010年度の年次寄付の50%は280,138.92ドル。(次々年度は恒久基金の利息の50%は付加されず)2011-2012年度の繰越金額は162,635.49ドル。両者の合計は442,774.41ドルで、これが2012-2013年度のDDF利用可能金額です。

協議に先立って 司会：福家地区ロータリー財団委員長

松本Gは丁度この日に第2660地区の85クラブ全ての公式訪問を終えられました。大変なお仕事を完了されましたということで、全員拍手で祝福。

松本G：全クラブ公式訪問無事終了は、皆様のおかげです。次年度に期待することは何かと言うお尋ねです

が、これは岡部GEにお任せを致します。

岡部GE：国際協議会についてご報告します。カルヤン・パネルジー RI会長エレクトは次年度のテーマを「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」とされました。テーマのロゴは3つのハートが大きく広がっていくというもので、博愛精神を表わしているということです。インドの方で、幾分宗教色が感じられるテーマです。そしてロータリアンにとって大切なこととして「家族」「継続」「変化」の3つを挙げられました。「家族」は奉仕の原点。母の子に対する愛情が良い家族を作り、良い家族が良き地域社会の礎になることを説かれました。「継続」も大切に、貧困な国地域に対し、新補助金制度の中で謳われている6つの重点項目に該当するような事業の継続性は重要と言われました。「変化」については、社会を変化させるというのではなく、先ず自分自身が変化していく自己啓発の必要性を説かれました。またロータリーの長期計画を遂行するために①クラブのサポート強化②人道的奉仕③公共イメージの向上の3つの要素を挙げられました。私もこれに則って1年間の活動を考えています。①については出席率向上の実現②については特にポリオの撲滅③についてはマスメディアの利用を実現に向けて動き始めており、今月大谷PGがインドにてポリオワクチンの接種活動を行われますが、TV大阪がこれを取材して7月18日に放映されることが決まっています。

次年度方針について話を進めます。次年度の寄付目標は年次寄付150ドル以上、ポリオ撲滅の寄付3000円以上と致します。クラブのサポート強化に関連しますが、各クラブにクラブ研修リーダーを設けて頂き、新しい会員への指導に努めて頂きます。地区大会では入会后3年未満のロータリアンを出席義務者とする研修会を開きます。新世代奉仕についても、計画を練ってロータリアンの認識を深めたいと思います。2013年7月からの「未来の夢計画」ですが、今年度を大切な準備期間と捉えて、次年度に備える所存です。

吉崎地区研究グループ交換委員長より

2012-13年度のGSEプログラム実施についてTRFの指示を待っていたところ、派遣費用をWFではなくDDFから5000ドル支出して実施して良いとの通知があり、当地区ではハンブルグとの交換を計画しています。

DDF配分協議

財団部門4委員会各委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。また小林地区国際奉仕・WCS委員長、川上次年度地区社会奉仕委員長からも以下の通りのお考えが述べられました。

百済委員長：ロータリー・カードと2億ドルチャレンジ進捗の件につき報告

吉崎委員長：派遣費用5000ドルのほかに語学研修費2500ドルを要請したい

梅崎委員長：次年度派遣奨学生は3名と少なかったが、次々年度やはり7名の派遣を目指すので、7名分のDDF配分を要請したい

五味委員長：今年度地区補助金予算の50000ドルは申請件数が多く枯渇したので、次年度から55000ドル、次々年度56000ドルを要請したい

小林委員長：マッチング・グラントはより規模の大きなプロジェクトを実施して件数を少なくするのが今後の方

向だと思われ、規模拡大を考慮してマッチング・グラントのためのDDFは10万ドルを要請したい

川上次年度委員長：地区補助金プロジェクトの適格性についてクラブ／ロータリアンの理解が不十分。対策を検討されたい

横山顧問より

①岡部年度基本方針を評価

②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき

③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき

④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにするべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定

これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、下の表の通りです。

高島GNより

2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にして行きたいと考えている。

上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2011年2月10日シェア会議
ロータリー財団委員会
単位:US\$

	2010-11年度予算	2011-12年度予算	2012-13年度予算
前年度DDF繰越額	276,434.50	194,577.46	162,635.49
TRF新規DDF配分額	307,639.97	279,558.03	280,138.92
DDF利用可能総額	584,074.47	474,135.49	442,774.41

配分・分野	2010-11年度予算		2011-12年度予算		2012-13年度予算							
	使用見込み		使用見込み		使用見込み							
〈人道的分野〉												
地区補助金	50,000	50,000	50,000	55,000	56,000	56,000						
WCS MG	65,000	65,000	65,000	65,000	100,000	100,000						
〈教育的分野〉												
	奨学生@25,000		奨学生@26,000		奨学生@27,000							
国際親善奨学生	8名	200,000	6名	150,497.01	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	7名	189,000
〈プログラム強化〉												
GSE語学研修	2,500	0	2,500	2,500	2,500	2,500						
GSE派遣					5,000	5,000						
〈寄贈分野〉												
ロータリー平和フェロー	25,000	25,000	0	25,000	25,000	25,000						
ポリオ・プラス	86,000	86,000	86,000	86,000	40,000	40,000						
追加GSE寄贈(他地区への寄贈) 2010-2011年度 スリランカ D3220へ	0	13,000										
分野別・配分総額	428,500	389,497.01	411,500	311,500	417,500	417,500						
次年度への繰越予定額	155,574.47	194,577.46	62,635.49	162,635.49	25,274.41	25,274.41						